

第 240 回 昭和の森自然観察会

森のめぐみでリースづくり

山田益弘（千葉市）

日 時：2011 年 12 月 11 日（日）13～15 時 天気：晴れ

参加者：38 名（大人 21 名、子ども 17 名） 指導員 13 名

担当指導員：須田聰恵 晝間初枝 山田益弘

厳しい寒さが予想され、参加者が少ないのではと心配したが、穏やかな日差しに恵まれました。東屋前の芝生にシートを敷き、クリスマス、正月用に作成したリースを展示し、事前に準備したリースの土台（クズ、フジ、いなわら等）、飾り付け用のヒノキ、スギ等（緑）、バラの実、カラスウリ、ノイバラ（赤）等、その他マツボックリ、シャリンバイ、エノコログサ、クヌギ、マテバシイ、など数多くの材料を用意しました。

特に秋を代表する野草のクズは、我が国では森や河原の邪魔者として害草のイメージが強いが、古くから私たちの生活と密接な関わりを持っているなど、つる植物の特徴や役割、更にその活用方法等を説明しました。

「これ何の“つる”か 判りますか？」 「・・・」 「クズ ですよ」

10 メートルを越す、クズの“つる”に皆ビックリの様子でした。

リースの土台、飾り用の材料を各自選びリース作りのスタートです。

最初どうしていいのか判らない状況の人もありましたが、親子で話したり、指導員の助言を聞く等しながら、作業を繰り返す内に自分のイメージが出来上がり、だんだん形になってきました。約 1 時間半でほぼ全員がオリジナルリースの完成です。

出来あがった作品を皆で品評会を行いました。

“カワイイ” “キレイ” “上手” 等々の声に、大人も子供も皆、満足顔でした。

参加者から材料が豊富で、また 皆で和気あいあい、楽しかったとの声が聞かれ好評でした。（20 数種用意しました）

最後に“リース作りの材料は、公園などで拾える木の実、花も沢山ありますが、是非マナーだけは守って頂きたい”とお願いし解散しました。

大勢の指導員のご協力で楽しくリースづくりが出来、心より感謝いたします。

